



梅田中だより

<第18号> **1月**

学校評価アンケートの一覧です。
お忙しい中、たいへんお世話になりました。

【教育活動に関するアンケート（生徒）】

| | 項目 | 前期 | 後期割合 | | | 前期との比較 | 5%以上の増減 | |
|---------------------------|---|-----|------|-----|-----|--------|---------|-----|
| | | A+B | A+B | C+D | E | | | 未記入 |
| 確かな学力 | 1 授業等で「分かった」、「できた」という気持ちを持つことがある。 | 94% | 92% | 8% | 0% | 0% | -2 | |
| | 2 学習課題に対して意欲的に（粘り強く）取り組んでいる。 | 69% | 70% | 30% | 0% | 0% | 1 | |
| | 3 授業中、自分の考えを書いたり、発表したりしている。 | 60% | 51% | 49% | 0% | 0% | -9 | ◎ |
| | 4 授業態度や宿題、作品の提出、歌や運動のことなどで先生にほめられ、やる気がでたことがある。 | 78% | 73% | 27% | 0% | 0% | -5 | ◎ |
| | 5 朝学習にじっくり取り組めるようになった。 | 86% | 84% | 11% | 3% | 0% | -2 | |
| | 6 家庭学習（塾等も含む）に習慣的に取り組めるようになった。 | 77% | 73% | 27% | 0% | 0% | -4 | |
| 豊かな心 | 7 学校生活や部活動、家庭生活などで一生懸命取り組むものがある。 | 86% | 83% | 17% | 0% | 0% | -3 | |
| | 8 他の人の気持ちを考えて生活している。 | 86% | 89% | 10% | 1% | 0% | 3 | |
| | 9 学校が楽しいと感じている。 | 83% | 78% | 14% | 8% | 0% | -5 | ◎ |
| | 10 悩みやストレスを感じたとき相談にのってくれる友達や先生がいる。 | 71% | 78% | 14% | 8% | 0% | 7 | ◎ |
| | 11 友達のこと、気になることやいじめかなと思った時には、大人に相談したり、止めたりしている。 | 52% | 57% | 30% | 13% | 0% | 5 | ◎ |
| | 12 大きな声であいさつをしている。 | 72% | 75% | 24% | 2% | 0% | 3 | |
| | 13 大きな声で返事をしている。 | 69% | 71% | 27% | 2% | 0% | 2 | |
| | 14 大きな声で校歌を歌っている。 | 65% | 54% | 27% | 19% | 0% | -11 | ◎ |
| | 15 清掃や係の活動にはきちんと取り組んでいる。 | 91% | 97% | 3% | 0% | 0% | 6 | ◎ |
| | 16 「梅田中当たり前」を意識してできるようにしている。 | 85% | 84% | 13% | 3% | 0% | -1 | |
| 17 社会のルールやマナーを意識して生活している。 | 95% | 92% | 6% | 2% | 0% | -3 | | |
| 充実した学校生活 | 18 自分には、よいところがある。 | 57% | 60% | 30% | 10% | 0% | 3 | |
| | 19 学校、学級、部や友達のためになることを行っている。 | 80% | 83% | 14% | 2% | 0% | 3 | |
| | 20 学校行事には持てる力を出して、協力的に参加している。 | 86% | 92% | 6% | 2% | 0% | 6 | ◎ |
| | 21 部活動や文化、スポーツ活動には、目標達成を目指して意欲的に参加し、技能や体力を高めている。 | 78% | 75% | 19% | 6% | 0% | -3 | |
| | 22 職業調べ、職場体験、進路説明会などで得た進路情報をもとに自分の学習への取り組みや進路について考えている。 | 60% | 78% | 19% | 3% | 0% | 18 | ◎ |
| 健康安全 | 23 必ず朝ご飯を食べている。 | 94% | 94% | 6% | 0% | 0% | ±0 | |
| | 24 毎日十分な睡眠をとっている。（夜遅くまで起きていない。） | 62% | 67% | 32% | 0% | 0% | 5 | ◎ |
| | 25 「受診のすすめ」等を参考に治療している。 | 75% | 84% | 6% | 0% | 0% | 9 | ◎ |
| | 26 家庭で決めたメディアの使用ルールがあり、守られている。 | 55% | 59% | 33% | 8% | 0% | 4 | |
| | 27 普段から、危険な行動をとらないようにしたり、危険な所に近づかないようにしている。 | 95% | 94% | 5% | 2% | 0% | -1 | |

【 教育活動に関するアンケート（保護者）】

| | 項目 | 前期 | 後期割合 | | | 前期との比較 | 5%以上の増減 | | |
|----------|----|---|------|-----|-----|--------|---------|-----|---|
| | | A+B | A+B | C+D | E | | | 未記入 | |
| 保護者連携 | 1 | 授業参観や学校行事等に積極的に参加している。または、しようとしている。 | 95% | 93% | 7% | 0% | 0% | -2 | |
| | 2 | 学校からの通知やたよりから、学校や子どもの様子がわかる。 | 90% | 95% | 5% | 0% | 0% | 5 | ◎ |
| | 3 | 学校は何かあったときには電話連絡や家庭訪問を行っている。 | 93% | 93% | 3% | 2% | 2% | ±0 | |
| 確かな学力 | 4 | 学校は、テストの結果だけでなく、授業態度や宿題の提出状況等のいろいろな面から評価している。(後期のみ) | 0% | 88% | 7% | 5% | 0% | | |
| | 5 | お子さんは家庭学習(塾等も含む)に習慣的に取り組んでいる。 | 72% | 70% | 27% | 3% | 0% | -2 | |
| 豊かな心 | 6 | お子さんは、学校生活や部活動、家庭生活等で意欲を持って取り組むものがある。 | 84% | 80% | 15% | 5% | 0% | -4 | |
| | 7 | お子さんは、他の人の気持ちを考えることができる。 | 92% | 90% | 10% | 0% | 0% | -2 | |
| | 8 | 学校では、いじめや不登校の問題解決に努め、対応している。 | 79% | 83% | 10% | 7% | 0% | 4 | |
| | 9 | お子さんは、あいさつなど時と場に応じた言葉遣いができる。 | 95% | 92% | 8% | 0% | 0% | -3 | |
| 充実した学校生活 | 10 | お子さんは、社会のルールやマナーを意識して生活している。 | 92% | 88% | 12% | 0% | 0% | -4 | |
| | 11 | 学校からのたよりや通知表等には生徒の活躍の様子やよい面が書かれている。 | 97% | 90% | 10% | 0% | 0% | -7 | ◎ |
| | 12 | お子さんは、学校行事に友達と一緒に持って出る力を出して積極的に参加している。 | 90% | 95% | 5% | 0% | 0% | 5 | ◎ |
| | 13 | お子さんは、部活動や文化・スポーツ活動等で、特性や能力(体力)をのばしている。 | 87% | 92% | 8% | 0% | 0% | 5 | ◎ |
| 健康安全 | 14 | お子さんの職業調べや職場体験、進路説明会などで得た進路情報をもとに学習や進路のことを家庭で話し合っている。(前期は1年生回答なし) | 64% | 85% | 15% | 0% | 0% | 21 | ◎ |
| | 15 | 保健のたよりや受診のすすめ等による情報は、お子さんの食事・睡眠・治療・メディアとの関わりの見直しや健康保持に役立っている。 | 90% | 88% | 12% | 0% | 0% | -2 | |
| | 16 | メディア(テレビ、ゲーム、携帯、スマホ等)の使用ルールについて、家庭で話し合っている。 | 84% | 75% | 25% | 0% | 0% | -9 | ◎ |
| | 17 | 学校は、生徒の安全確保のために、自転車点検や街頭指導、避難訓練、集会での指導を定期的実施している。 | 98% | 93% | 7% | 0% | 0% | -5 | ◎ |

<Ⅰ 保護者連携>

- 「学校からの通知やたよりから、学校や子どもの様子がわかる。」については、前回は上回りました。今後より一層の情報共有、迅速な連絡、対応を心がけていきたいと思ひます。以前、学校からの通信やたよりが届かないというお話をうかがいましたが、改善がなされたと認識しています。今後も、学校からの新しい情報を迅速に、お伝えできるよう努力をしていきます。

<Ⅱ 確かな学力>

- 「学校は、テストの結果だけでなく、授業態度や宿題の提出状況等のいろいろな面から評価している」の項目については、後期のみ回答になります。子供の評価を適切に行うことは、とても大切なことです。この項目の回答がさらに向上できるよう、学校としても全体で取り組んでいきたいと思ひます。
- 「お子さんは家庭学習(塾等も含む)に習慣的に取り組んでいる」の項目については、やや課題を感じている保護者の方が多いように思ひます。今後とも、学級や教科の学習の中で継続的に指導を続けていきます。

<Ⅲ 豊かな心>

- ルールやマナー、あいさつを意識した生活ができています。学校としても、子供たちの思春期での悩みや不安にできる限り寄り添い、その解決に向けて、子供たちと一緒に考えていくよう心がけています。しかし、まだ、子供たちの心の中には、自分の思いをなかなか先生や大人に相談することができずに悩んでいる場面もあるようです。思春期を迎えている子供たちの心の問題にも対応できるよう、より良い人間関係づくりに向け、コミュニケーション能力を高めていけるよう、学校としても努力をしていきたいと思ひます。
- 生徒会本部役員を中心に「あいさつ」や「梅田中学校当たり前活動」に取り組んでいます。生徒同士、生徒と教師、そして生徒と保護者間をつなぐ大切な役割を前向きに果たしてくれています。これらの活動に安心して取り組める環境を整備できるよう学校でも取り組んでいきたいと思ひます。

<Ⅳ 充実した学校生活>

- 学校行事を活用して、子供たちの自己有用感を育む機会を作るはずでしたが、コロナウイルス感染症の影響で例年通りの学校行事が実施できず、子供たちの活動の場が数多く失われました。今後、このような中においても、子供たちの自己有用感や自尊感情を高めていく指導を検討していきたいと思ひます。

<Ⅴ 健康安全>

- 「受診のすすめ」等を参考に治療する子供の割合が増えてきています。ぜひ、ご家庭でも、「受診のすすめ」が届いた場合には、早急に医療機関への受診をよろしくお願ひいたします。
- メディア(テレビ、ゲーム、携帯、スマホ等)の使用ルールについて課題があると、生徒、及び保護者の双方から回答がありました。睡眠不足を感じている生徒の多くが、使用についてのルールづくりが必要と考えているように思われます。学校でも指導を検討していきますが、あらためて、ご家庭でも改善策をお子さんと話し合う機会を作っただけであればと思ひます。